

新しいLRP FLOWオンロードモディファイソフトウェアV5.4



LRPのEFRA 1/10電動オンロードストック・ヨーロッパ選手権制覇からフレッシュ! LRPチームドライバマレク・チェルニー、ヤンRatheiskyとマティアコリーナは、競争の激しいストッククラスにおいて表彰台を占めました。私たちは、この素晴らしい結果を達成し、この新たな前例のないレベルにまでLRPストックソフトを持ってきて私たちに助けた、彼らの全ての努力に対し、マレク、ヤンとマティアに祝福と感謝を表したいと思います。

バージョン5.4は、新しく開発されたストック専用のXストックブレーキを備えていますし、また、よく知られていて人気のセミXおよびBD3ブレーキも含まれています。一新されたブーストタイミングとブーストランプ設定で、私たちはあなたのブーストクラスのニーズに応えるための強力なツールを提供します。徹底的に最適化されたモードの値は、トラックでの可能な限り最高の感触に向けて、あなた好みに調整することができます。工場出荷時の新設定および新しい自動1S/2S検出が、このエキサイティングなパッケージを締めくくっています。全体的に、ソフトウェアは低減され、ストック車をその限界に近づけるためにあなたが実際に必要なものだけを残して、修正されています。

ブーストゼロあるいはブーストクラス、オンロードあるいはオフロード、トラックの大小、ストックにおける細部カウント、に関わりありません。これは、全てのトラックレイアウトにとって完璧な武器となるでしょう。新しいバージョン5.4の全てが、次のレベルにあなたのストックレースをもたらすでしょう!

ファームウェア: v5.4

製品: フローコンペティション
フローワークスチーム

説明: ブースとゼロおよびブースとクラス向けストック・ソフトウェアオンおよびオフロード

品番: 80960 80970

主な改善点

- ストック使用専用の新Xストックブレーキを含む、新ブレーキ型モード
- 完璧にリニューアルされたブーストタイミングとブーストランプ設定
- モード値および工場出荷時設定の最適化
- 全体修正されたソフトウェア設定
- 新自動1S / 2S検出

新しいLRP フローストック・ソフトウェアV5.4機能の追加説明

モード1	モード2	モード3	モード4
<p>オートブレーキまたは"ドラッグブレーキ" (V5.4 > 新バリエーション):</p> <p>ラジオでのスロットル位置がニュートラル時、適用ブレーキ/パワーの割合を定義。</p> <p>ストック機能のための新オートブレーキは、"0"のデフォルト設定で、最大のコーナー速度と可能な限り低いモーター温度を取得。</p> <p>より詳細な値により、より厳しいインフィールド上のストックレースに向けた、より正確なオートブレーキ調整が可能。</p>	<p>ブレーキ形式 (V5.4 > 新機能)</p> <p>必要に応じて3種類のブレーキ間で選択。</p> <p>セミX:</p> <p>より低速に向けた制動力の増加機能。ウェットまたは低グリップコンディションを推奨。</p> <p>Xストック(ストックブレーキ専用):</p> <p>非常にニュートラルなブレーキ感を持つ、滑らかな低回転ブレーキに向けた強力高速ブレーキング機能。この新開発のデフォルト設定が、可能な限りの低モーター温度を維持。</p> <p>BD3:</p> <p>全体ブレーキバンドを通じて、最も直接的感覚と強力制動力を備える。</p> <p>注: このブレーキはより負荷がかかり、モーターの温度が増加するため、ご使用の際はモーター温度を監視して下さい。</p>	<p>イニシャルブレーキ(V5.4 > 新):</p> <p>あなたが最初にブレーキをかける時、オートブレーキが追加され、ブレーキ力を定義します。ブレーキを打つ時、これにより一種の「ハンドブレーキ」効果が得られます。</p> <p>多くの180度カーブとの緊密なインフィールドトラック上への使用を提案します。</p>	<p>初期駆動(ブーストゼロクラスの主要機能):</p> <p>ブーストゼロでは、初期駆動はストックモーターから最大値を得ることに中心的な役割を果たしている。この設定が高いほど、コーナーから抜け出す時より多くのパワーを得られます。</p> <p>一般ルール: あなたが快適な感覚に到達するまでできるだけ高く行く。</p> <p>ご注意: 高い初期駆動設定は、大幅にモーター温度を上昇させます。高い初期駆動設定を実行している場合は、モーター温度保護は常にアクティブでなければなりません! 常に正しい初期駆動値を調整するためにモーター温度を監視してください!</p>
モード5	モード6	モード7	モード8
<p>トルクタイミング:</p> <p>特にX12/X20/X20SS/A7モーター用に設計された機能。トルクタイミングの使用は効率を高め、より低いV/Fパワーバンドを向上させ、その結果、よりスムーズな操作とモーター冷却走行を実現。</p>	<p>ブーストタイミング(ブーストクラスの主な機能):</p> <p>最大ブーストタイミング設定を定義します。</p> <p>ブーストクラスにおいて、最大パワーが全てです。このことを念頭に、私たちは、可能な限り高いV/Fパワー出力を達成するために、この機能を新たに開発しました。</p> <p>トラックに応じて、使用モーターとあなたの個人的な選択は、可能な限り最高の設定を使用することを私たちは推奨します。</p> <p>注意: ブーストのタイミング使用時、モーターでの機械的タイミング + 速度制御での電子化タイミングが90°を越えていないことを確認してください!</p> <p>注: ブーストゼロクラスには"ブースト0"を選択する必要があります (V5.4中のデフォルト設定)。“ブースト0”を選択した場合、モード7は表示されません。</p> <p>より高いブーストタイミング設定が、モーター温度を大幅に上昇させます。高いブーストタイミング設定を実行している場合、モーター温度保護は常にアクティブでなければなりません! 常に正しいブーストタイミング値を調整するためにモーター温度を監視してください!</p>	<p>ブーストランプ (5.4 > ブーストクラスの新しい主要機能):</p> <p>選択したブーストタイミングに達するまでの速さ(アグレッシブ)を定義。</p> <p>新しいブーストタイミング機能と共に、ブーストランプは、あなたのモーターから最大パワーをエールために完全に一新されています。</p> <p>トラックに応じて、使用モーターとあなたの個人的な選択は、可能な限り最高の設定を使用することを私たちは推奨します。これが絶大なV/Fパワーと高速加速をもたらします。</p> <p>注意: より高いブーストランプ設定が、モーター温度を大幅に上昇させます。高いランプ設定を実行している場合、モーター温度保護は常にアクティブでなければなりません! 常に正しいブーストランプ値を調整するためにモーター温度を監視してください!</p>	<p>保護:</p> <p>スピードメーターとモーターの保護レベルを定義します。</p> <p>バッテリー保護は常にアクティブです。</p> <p>注意: 大方のストックモーターは、動作遂行のために設計されているよりも、もっとパワーを得たいという願望から非常に熱くなりがちです。モーター温度シャットダウンがレース終了間近になる場合に備えて、モーター温度保護のスイッチを切ることを考慮したほうがいいかもしれません。モーターがオーバーヒートする可能性があることに注意してください。したがってモーター保護の利用を強くお勧めします!</p>

新しいLRP FLOWオンロードモディファイソフトウェアV5.4

モード	1	2	3	4	5	6	7	8
赤LED		速い	速い					
青LED								
黄LED								
設定 緑LED	オートブレーキ	ブレーキタイプ	イニシャルブレーキ	イニシャルドライブ	トルクタイミング	ブーストタイミング	ブーストランプ	保護
	[%]	-	[%]	[%]	[°]	[°]	[°/10k]	-
0	0	セミXブレーキ	0		0	0		ESCO & モーター
1	1	Xストック	1	3	5	15	10	ESC だけ
2	3	BD3	3	5	10	20	12	
3	5		5	7	15	25	14	
4	7		7	9	20	30	16	
5	9		9	12	25	35	18	
6	11		11	15		40	20	
7	13		13	18		45	25	
8	15		15	21		50	30	
9	20		20	24		55	35	
10	25		25	27		60	40	

工場出荷時のデフォルト設定は、白で示されています。

白

以下は重要な短い説明だけを抜粋していますので、追加説明の詳細については、元のユーザーマニュアルを参照してください。
 ご注意:「ブースト0」が選択されている場合、モード7は表示されません。

グレー

「プログラミング・モード」の取得方法

「モード」ボタンを最低3秒間押します。

- ・ 保存された設定を確認する方法→グリーン「SET-LED」の点滅回数を数える
- ・ 設定を変更する方法→「SET」ボタンを押して、1ステップで設定を増やします。
- ・ 次のモードの入手方法→「MODE」ボタンを一回押します。
- ・ プログラミング・モードを終了するには→最後のモードに達している場合、「MODE」ボタンをもう一度押します。またこれはあなたの設定を保存します。

ソフトウェア更新後は、工場出荷時の設定に速度制御をリセットします。各ソフトウェアの更新後には、これを実行しなければなりません!

受信機のスイッチを入れ、「SET」ボタンを押し、スピードコントロールのスイッチを入れている間、「SET」ボタンを押したままにします。これは工場出荷時の設定にスピードコントロールを設定します。

送信機にスピードコントロールがキャリブレーションします。各ソフトウェアの更新後に実行されなければなりません!

スピードコントロールをバッテリーに接続し、スイッチを入れます。「SET」ボタンを最低3秒間押したままにします。

- ・ 青色LEDが点滅。ニュートラル位置にトランスミッタを残し、「SET」ボタンを押します。→ニュートラルの保存。
- ・ 黄色LEDが点滅。トランスミッタ上にフルスロットルを保持し、「SET」ボタンを押します。→フルスロットルの保存。
- ・ 赤色LEDが点滅。トランスミッタ上にフルブレーキを保持し、「SET」ボタンを押します。→フルブレーキの保存。

最高温度の読みだし方:

「MODE」ボタンを押して、スピードコントロールのスイッチが入る間、「MODE」ボタンを押し続けます。それからボタンを離します。

スピードメーター温度の読み出しのために、「シャットダウンまでのスピードメーター温度」を示す緑色LEDのゆっくりした点滅を数えます。

ゆっくりした緑色LED	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
温度°C	> -54°C	-48°C	-42°C	-36°C	-30°C	-24°C	-18°C	-12°C	-6°C	シャットダウン
温度°F	> -97°F	-86°F	-76°F	-65°F	-54°F	-43°F	-32°F	-22°F	-11°F	シャットダウン

モーター温度の読み出しのために、「MODE」ボタンを再び押して、「シャットダウンまでのモーター温度」を示す緑色LEDの点滅を数えます。

Fast green LED	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
温度°C	> -45°C	-40°C	-35°C	-30°C	-25°C	-20°C	-15°C	-10°C	-5°C	シャットダウン
温度°F	> -81°F	-72°F	-63°F	-54°F	-45°F	-36°F	-27°F	-18°F	-9°F	シャットダウン